

## 【第10回世界水フォーラム開催概要】

会 期： 2024年5月18日（土）～25日（土）  
 開 催 地： インドネシア共和国・バリ島  
 主 催： 世界水会議（国際 NGO）、インドネシア政府、バリ州政府  
 テ ー マ： 繁栄を分かち合うための水（Water for Shared Prosperity）

こやり国土交通大臣政務官が参加した主なプログラム

- ・ 第23回 HELP（スピーチ）
- ・ 歓迎ディナー（出席）
- ・ 開会式（出席）
- ・ 首脳級会合（スピーチ）
- ・ 第4回日中韓水担当大臣会合（スピーチ、共同宣言の署名）
- ・ 早期警戒システムに関するハイレベル・パネル（HLP8）（スピーチ）
- ・ 閣僚級会合（スピーチ）
- ・ バンドン精神水サミット（スピーチ）
- ・ エキスポ&フェア（日本パビリオン視察）

## ＜第23回 HELP＞

こやり政務官は、5月19日、世界水フォーラムに併せて開催された「水と災害ハイレベルパネル（HELP）第23回会合」に出席した。会合には議長であるハン・スンス元韓国首相のほか、副議長であるバスキ・インドネシア公共事業・国民住宅大臣などが参加し、政務官からは、流域のあらゆる関係者による協働により立ち向かう「by ALL」の取り組みなどについて報告した。会合では、第10回世界水フォーラムや、バンドン精神水サミットの議論を国際社会に広める方策等について議論が行われた。



第23回 HELP における  
こやり政務官のスピーチ

## ＜首脳級会合＞

こやり政務官は、5月20日に首脳級会合に参加し、スピーチを行った。インドネシア共和国ジョコ・ウィドド大統領、世界水会議ロイック・フォーション会長をはじめとする各国・国際機関の首脳級が出席した。

こやり政務官から、気候変動をはじめとする水の課題に対して、流域のあらゆる関係者による協働により、「by ALL」で立ち向かっている、流域治水をはじめとする我が国の水管理の取り組みを紹介し、各国が連携し、地球規模の水を巡る課題解決に向けて取り組んでいくこと等を主張した。



首脳級会合における  
こやり政務官のスピーチ

### <閣僚級会合>

こやり政務官は、5月21日に閣僚級会合に参加し、スピーチを行った。インドネシア共和国ルフト海洋・投資担当調整大臣、バスキ公共事業・国民住宅大臣、世界水会議ロイック・フォーション会長をはじめとする各国・国際機関の閣僚級が出席した。

こやり政務官から、気候変動をはじめとする水の課題に対して、流域のあらゆる関係者による協働により、「by ALL」で立ち向かっている、流域治水をはじめとする我が国の水管理の取り組みを紹介した。加えて、水防災への事前投資の重要性を訴えたほか、世界湖沼の日の制定について支持を表明した。

閣僚級会合においては、閣僚宣言が採択され、当宣言の中には、健全な水循環や、水災害への事前投資の重要性、世界湖沼の日の提案などが盛り込まれた。

※ 閣僚宣言（英語）については、第10回世界水フォーラムのホームページをご参照下さい。

<https://worldwaterforum.org/web/content/259470?unique=70343cb6cc83ce2d5d3c9ebee373cdc48beec66a&download=true>



閣僚級会合における  
こやり政務官のスピーチ

### <第4回日中韓水担当大臣会合>

5月20日に第4回日中韓水担当大臣会合には、こやり政務官、リ・グオリン中華人民共和国水利部長、パク・ジェヒョン大韓民国環境部副長官が出席し、「気候変動への対応と強靱な水インフラの構築」について共同宣言を発表した。

同会合の中で、こやり政務官からは、日本が、治水面、利水面、水循環の3つの面において、流域のあらゆる関係者による協働により、“by ALL”で、気候変動に立ち向かっている旨、知見の共有を図った。共通の課題である気候変動に対して、3国が協力していくことを確認し、共同で宣言した。



日中韓水担当大臣会合  
におけるこやり政務官  
のスピーチ



日中韓水担当大臣会合における  
共同宣言の署名

### <早期警戒システムに関するハイレベル・パネル>

5月20日に開催されたハイレベルパネル「『全ての人に早期警戒を(EW4ALL)』の現状」にこやり政務官が出席し、洪水予報やハザードマップを通じた日本の取り組み等を報告した。



ハイレベル・パネルにおける  
こやり政務官による報告

### <バンドン精神水サミット>

首脳級・元首脳級・国際機関トップなどのハイレベルが参加して5月21日に開催された「バンドン精神水サミット」では、天皇陛下による「繁栄を分かち合うための水(Water for shared prosperity)」と題したビデオ基調講演が披露された。



天皇陛下によるビデオ基調講演

その後、こやり政務官より、1955年のバンドン会議で議論された精神のもと、グローバルサウスをはじめとする世界のリーダーとともに水の議論を行うことの重要性等について意見が述べられ、元首級の参加者とともに今後の取り組みについての議論がなされた。

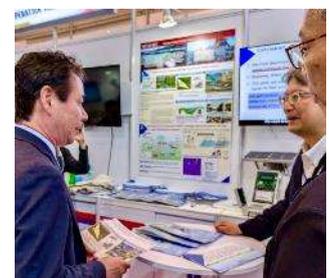
同サミットの議論も反映した「行動への呼びかけ(A Call to Actions)」と題した成果文書が作成され、参加者に共有された。



こやり政務官によるスピーチ

### <日本パビリオン>

日本の省庁、自治体、企業等が参画する日本パビリオンの視察を行った。同パビリオンにおいては、水に関連する展示や映像放映、プレゼンテーション、イベント開催を通じて37団体が参加した。



日本パビリオンを視察する  
こやり政務官

## 【各国要人との会談】

＜インドネシア共和国 バスキ公共事業・国民住宅大臣との会談＞

5月19日、こやり政務官はインドネシア共和国のバスキ・ハデ  
ィムリヨノ公共事業・国民住宅大臣と会談を行い、水分野の協力に  
係る意見交換を行った。バスキ大臣から第10回世界水フォーラム  
における日本の貢献に対して謝意を表明した他、砂防分野をはじめ  
として、引き続き水分野で連携していくことを確認した。



バスキ大臣との  
バイ会談の様子